

栃木放送平成 28 年度第 10 回 3 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 29 年 3 月 17 日（金）午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名
出席委員 7 名
欠席委員 2 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	太 田 照 男
	委 員	大 島 幸 雄
	委 員	鈴 木 俊 男
	委 員	河 又 弘 子
	委 員	平 野 博 章
	委 員	荒 川 政 利

局側出席者氏名	代表取締役社長	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也

4 議 題

- (1) 「船村徹ふるさと物語～嶋均三 関谷忠一と語る～」について
- (2) その他

5 議事内容

- (1) 「船村徹ふるさとものがたり～嶋均三 関谷忠一と語る～」について
試聴番組：3 月 12 日（日）に放送した番組を予め試聴

議題説明：報道制作局長・高瀬が番組の概要について説明。
次に審議に入る。

各委員からは、

- 改めて郷土が誇る偉大な人だなと思いながら一気に聴いた。栃木の方言は共通語とは違うニュアンスが感じられた。また機会があれば聴いてみたい。全国に売り込んでもいいような番組だと思う。山の日のお話も勉強になった。
- 船村氏とは地元が同じ。22年前ラジオで、氏の「利根川を渡るとジーンと来るんだよな」という話を聴いたことがある。しかし、最初地元では人気がなく、その後、船村氏を盛り上げようということになった。地元のお祭りにもよく来てくれた。全国版を作って放送してほしい。
- 船村氏の人となりがわかる番組だった。使っている方言がわからないところもあったが…。地元局として地元の人を出演させるのはいい。もう一人の名誉県民・渡辺貞夫氏も取り上げてほしい。
- 演歌を聞かないので、船村氏のことはよく知らなかった。代表曲をもっと多く入れてもよかったのではないか。
- 船村作品をまとめた番組をやってもいい。
- 音声は文字と違って、訛りやニュアンスが伝わっていい。曲をよく知らない人のために曲の説明があってもよかった。
- 夜に聴いたが、故郷の哀愁があって最後は泣けた。曲の情景がわかって、高齢者には懐かしい感じがするだろう。人選もよかった。ローカル局の番組としてはいい。年度最後の番組審議会としていい番組を取り上げた。
などの意見が出された。当社としてはこれらの意見を参考に今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成29年度第1回4月期の審議会を4月13日（木）に開くことを決め、閉会した。